



蔵王の森通信



No.38 2020年4月

発行：NPO 法人蔵王のブナと水を守る会
(ナショナル・トラスト事務局)

〒989 - 0231 宮城県白石市福岡蔵本字滝下 102

ホームページ： <http://www.zao.org>

今年の桜は例年より早く開花しましたが、各地で見物や祭りが中止になるなど残念な春となりました。でも、花は私たちを慰めるように長く咲いてくれていたようにも思いました。連日新型コロナウイルスのニュースで緊張を強いられる日々が続いております。主要都市では緊急事態宣言が出され、全国で不要不急の外出の自粛要請が続いております。当会も活動の見直しを行なう事になりました。

5月の春を食べる会、6月・7月の育林作業等は中止になります。毎年春を食べる会を楽しみにされていた方や育林作業にご協力いただいている企業の皆様には大変申し訳ございません。先の見えないウイルスとの戦いですが、皆様も感染にはくれぐれもお気を付けください。一日も早い終息を願うばかりです。

❁当会のホームページの紹介です。
昨年より撮り始めた植林地の動物や、小鳥の動画を掲載しております。

- 〈彩遊の森〉 2019年
- 6/9 (アカゲラの子育て)
- 7/14~8/11 (キツネ、タヌキ、ウサギ、アナグマの鳴き声)
- 8/11~8/25 (イノシシ、子グマ)
- 8/25~9/8 (イノシシ)
- 9/8~9/22A (キツネ、子グマ、テン?)
- 9/8~9/22-bb (ウサギ)
- 9/22~1009-a1 (ヤマナシの木付近)
- 9/22-1009-a2 (ヤマナシの木付近)
- 9/22-1009-b (作業小屋付近)
- 10/20~10/27 (イノシシ)
- 10/27~11/10 (イノシシ、キツネ他)
- 11/10~11/24 (ウサギ、キツネ)

- 〈アナグマの森〉 2019年
- 6/9 日準備開始
- 6/23~7/14 (アナグマ、キツネ)
- 7/14~8/11 (タヌキ、イノシシ親子)
- 8/11~8/25 (イノシシ)
- 8/25~9/8 (不明)

- 〈リスの森〉 2019年
- 9/22~1009 (ツリーハウス付近)
- 10/27~11/10 (カモシカ、イノシシ)
- 10/27~11/10-A (カモシカ他)
- 参考静止画 カモシカ、不明 1.2

- 〈リスの森〉 2020年
- 11/24 (R1) ~3/8 (R2) カメラをツリーハウスに設置

当会が実質的に森づくりを始めたのは、1990年である。今の場所とは違う南蔵王野営場が始まりの舞台となった。当時、広葉樹の苗はほとんど売ってはいなくて、売っていても高価であった。そこで私達は苗畑を借りて自分達で、ブナやミズナラの苗木を作ろうと思いついた。そのせいで以後の当会の活動の主な内容は苗畑の草取りが主役となってしまった。

ナショナルトラストを行い、現在の植林地を白石市と共同所有となってからも草取り作業は延々と続けられてきた。

2002年が現在の場所での植林初年である。当初は13haという広い植林地なので、苗木の用意はできず、業者からの苗木を買って植林したが、もちろんそれで足りた訳ではない。苗畑で草取り作業をしながらも毎年500本前後の苗木は生産されていた。補植という形で全植林地にまんべんなく植林できたと思われたのは、2015年頃である。

苗木は植林すればそれで育つという訳ではない。当初は笹や丈の高い雑草が小さな苗木にかぶさってしまうので、草刈作業が必要である。

スギやヒノキの造林に較べると広葉樹の森作りは、まだその技術が確立されていない。つまり難しいと言うことである。私達はそれについては独自の技術を開発して行っている。それについてはここでは詳しく述べない。

植林木が伸びるにつれて草刈作業は楽になっていった。2015年を過ぎる頃にはそれが格段に楽になっている事に気付く、上を見てみると上空は伸びた木の枝葉で覆われていた。それまでは草を刈る事に夢中になっていて、伸びについてはあまり注意していなかったのである。その後自然観察路作りが行われた。リスの森、アナグマの森、彩遊の森と名付けられた。

2017年からは8 m以上に伸びた木の記録を取ることにした。

リスの森	2017年(7本)	2018年(44本)	2019年(100本)
アナグマの森	2017年(10本)	2018年(90本)	2019年(182本)
彩遊の森	2017年(—)	2018年(18本)	2019年(49本)

気が付けばこんなにも伸びてくれていたのである。今年も現在調査中である。

多分、2019年の記録を大幅に更新してくれるものと思っている。

延々と続けられてきた苗木作り、草取り作業、草刈作業が今むくわれてきている事を実感している。

この森の中をいま、クマ、イノシシ、タヌキ、キツネ、ウサギ、リス、アナグマ、テン、カモシカ、アカネズミ、などの動物が闊歩している。

当会のホームページで映像を公開している。是非ご覧ください。

ブナについては残念ながら8 mに達しているものはまだ数本だけである。しかしブナは成長が遅い木なのである。歩いて見ればわかりますが、もうすぐ8 mになりそうな木はたくさんあるのです。いずれ彼等が主役になる時代が来るでしょう。

《民間助成金を頂き、新たな事業に挑戦しています》

現在、当会が行っている動物の生態調査のためのカメラや、木工に使う機材、刈り払いの謝礼等は、民間の助成金を活用しています。2019年度は経団連自然保護基金を頂き、次の事業に充てました。提出した報告書類の中から一部を紹介します。

〈蔵王のブナと水を守る会「南蔵王の荒地を広葉樹の森へ復元する事業」2019年度報告〉 (一部抜粋)

1. 活動内容

①森づくり自然園の管理

5月から11月まで植林地(彩遊の森、リスの森、アナグマの森、作業小屋周辺)の刈り払い、駐車場の刈り払いを実施した。随時、間伐や枝払い、倒木処理も行った。

(植林地刈り払い、間伐等) 延べ27日

②木工品作り

木工品作りに使用する機材を購入し、定例会や森の教室でヤマハンノキを使用した木工品作りに取り組んだ。その他、下記の通り、親子で訪れる団体に木工品作りを楽しんでもらった。森で遊ぶことを主としつつも、昼食後の休憩時間や天候が悪い日などに作品づくりに取り組んでもらっている。機材を使いこなすには、まだ時間がかかりそうだが、機材を購入したことで材料の準備に要する時間がかなり短縮できた。

8/25 親子行事 枝と木の実を使つての飾り物作り

10/20 団体行事 丸太や枝、木の実を使つてのクリスマスの飾り物作り

11/16 他団体に参加「あそびのワンダーランド」で枝や木の実を使つた飾り物作り

11/23 団体行事 会員手作りの積み木で遊ぶ

(購入した機材)

- ・充電レシプロソー ・レシプロソー刃 ・ジグソー ・スライド丸ノコ
- ・ボッシュワークベンチ ・メタルバークランプ ・デジタルカメラ ・糸ノコ
- ・ベルトディスクサンダー ・卓上ボール盤 ・回転台付きアンビルバイス

③動物の生態調査

動物生態観察のためカメラを2台購入し、6/9から準備開始、6/23から本格的に撮影を開始した。当初はアナグマの生態を観察したいとの考えで、アナグマの森にあるアナグマの穴付近にカメラを設置したところ、アナグマだけではなくキツネ、タヌキ、イノシシが撮影出来た。

そこで、7/14に彩遊の森のクマの寝床だと思われる場所に設置したところ、キツネ、タヌキ、ウサギ、アナグマ、イノシシの撮影に成功。そして、ついに8月に子グマも撮影することが出来た。

カメラを3台に増やしたところ、9月にはテンも撮影出来た。荒地から森への遷移の途中であるが、これほど多くの動物が生息しているとは想像していなかったので、大変驚いている。同時に、多くの動物が棲んでいるのは豊かな森になりつつある証拠なので、皆でとても喜んでいる。

このような生態調査が出来たのは、カメラを購入することが出来たお陰だと大変感謝している。プロジェクタースクリーンも購入し、定例会や団体行事の度に皆で鑑賞している。なお、生態調査の結果は、当会のホームページに「動画撮影記録」として掲載している。

(購入した機材)

・自動カメラ 3台 ・単3リチウム電池 ・SDHCカード ・プロジェクタースクリーン ・脚立 ・便利ベルト

※2020年度の助成金も決定しました。今年度は、樹木名板の作成費用、自動撮影カメラ等の購入、刈り払いの人件費に充てる予定です。

彩遊の森 キブシ 4月12日



アナグマの森 スハマソウ 4月12日



リスの森 キクザキイチゲ 4月12日



ナショナルトラスト基金報告

ナショナルトラスト基金をお寄せいただき、ありがとうございました。
2019年1月～12月の累計は、以下のとおりです。

2019年度件数 18件

2019年度金額 113,000円